

平成28年度「市民と議会の対話集会」において後日回答することとした意見交換の
記録及び行政からの回答

①

会場・項目	加子母会場 ・ 王滝新道
会場での質問・ 回答	要望 ・王滝新道を歩く人がある。森林管理署では歩く人の管理ができない。王滝新道に歩行者用のトイレを設置できないか。 回答 ・トイレ設置は難しい。要望として伺っておきます。水洗の場合は使わないとだめであり、汲み取りも難しい。どの位の者が歩いているのか。小秀山にはバイオのトイレが設置してある。
行政の担当部課	付知総合事務所
行政からの回答	・バイオトイレや合併浄化槽は、年間を通してある程度利用される方がみえないと機能しません。 ・現在のところ王滝新道を歩く方は少ない状況であり、冬季の利用もないためトイレ設置の予定はありません。 また、王滝新道を含め、木曽ヒノキ備林や二代目大ヒノキ等、裏木曽の国有林内を散策するツアー等では、簡易トイレを準備し対応しています。

②

会場・項目	加子母会場 ・ 火葬場
会場での質問・ 回答	要望 ・火葬場のイメージを良くしてもらいたい。火葬場に近い人には迷惑施設であり、どこかへ持って行って貰いたいと言われるが、付知としてはないと困る。イメージが良くない。イメージを上げてもらいたい。 回答 ・なし
行政の担当部課	環境施設建設推進室
行政からの回答	・付知火葬場につきましては、当面は現状維持を基本とし必要に応じて修繕や改修を行いながら、イメージアップにつながる方法を検討していきます。

③

会場・項目	加子母会場 ・ 病院関連
会場での質問・ 回答	要望 ・中津川市民病院の受付方法が初めて受診する者に分かりにくい。市民病院での初診者（初受診）の方は、市民病院での受付が要領を得ない。受付が分かりにくい。もう少し受付の仕方を分かり易くして貰いたい。 回答 ・市民病院に分かり易くするよう進言します。初めて行った人には非常に分かりにくい。受付の仕方が難しい。総合窓口、診察で受付となる。案内の方がいますが、その人が案内してくれることがわからない。このような話があったという事を市民病院に進言します。 要望 ・分かり易くする工夫はできないか。初診者に分かり易いよう張り紙等の配慮をお願いしたい。 回答 ・病院に話をします。初診者が分かり易い形で診察などができるよう

	話をしておきます。
行政の担当部課	医事課（市民病院）
行政からの回答	・市民病院を初めて受診する患者様には、総合案内（看護師１名）、自動受付機操作説明ボランティア（２名）で午前８時３０分より午前１１時３０分まで、案内業務を行っていますので、受診方法がわからない場合は受付担当者にお申し付け下さい。 また、正面玄関に初めて受診する患者様にもわかるような『受診についてのご案内』を掲示します。

④

会場・項目	加子母会場 ・ 地域づくり
会場での質問・回答	要望 ・加子母教育の日を是非見ていただきたい。地域と学校のつながりを見てもらいたい。地域づくりを行う担当職員が少ない。担当する職員の配置強化など地域づくりに力を入れた行政を行ってもらいたい。 回答 ・地域づくり協力隊を入れ、外部の人を活用することも一つの方法だと思います。
行政の担当部課	市民協働課・定住推進課・人事課
行政からの回答	・様々な外部人材等の登用の選択肢がある中、来年度地域おこし協力隊員を導入し地域課題解決に取り組みたいと考えています。移住定住施策等の推進、及び地域活性化のためには、何より地域の皆様との「協働」が必要不可欠であり、地域の自立に向けて、その役割の担い手として、「職員の先導力」は重要であると捉えています。 ・市民の皆様に求められる職員像を養成方針に掲げる中で、地域の実態を知り現状把握することで、今後も適切な職員の任用・配置を実施し、職員力向上のために個々のスキルアップを図り、協働によるまちづくりを推進するため、職員養成を実施して参ります。

⑤

会場・項目	馬籠会場 ・ 観光
会場での質問・回答	要望 ・外国人向けの観光ボランティアに大学生、高校生が来てくれて助かっている。中津高校は観光課が、名古屋外語大学は定住推進課が担当してくれているが、うまく連携できない時があり、できれば観光のことは観光課でまとめてやってもらいたい。 回答 ・観光振興事業での大切な対応であり、行政に伝えておきます。 要望 ・国道１９号から椿街道へ誘導する看板がない。カーナビにまだ載っていないこともあり、せっかく新しい道ができてあまり使われていない。国交省へ要望しているが、なかなか設置してもらえない。 回答 ・要望は聞いており、行政へ再度話をします。 要望 ・中津高校は、年８回ボランティアガイドに来てくれており、神坂中学校とも一緒にやりたいとも言ってくれている。生徒の勉強にもな

	り、是非引き続きお願いしたい。 回答 ・なし
行政の担当部課	観光課・建設課
行政からの回答	・中津高校によるボランティアガイドについては、学校側の教育方針に基づき行われており、生徒さんも積極的に参加していると聞いています。市としては、馬籠宿などに訪れる外国人観光客へのおもてなし力の向上につながると捉えており、それぞれの目的を達成するために協力して取り組みをすすめられるよう、働きかけていきたいと考えています。 ・高校や大学との域学連携については、地域や受け入れ側の意向もあるため、効果的な活動が行えるよう定住推進課と観光課が連携を図ってまいります。 ・国道19号から椿街道への誘導看板につきましては、管理者である国交省と修正に向けた協議を行っております。

⑥

会場・項目	馬籠会場 ・ 神坂スマートインター
会場での質問・回答	要望 ・スマートインターは、十数年の思いが地権者等の賛同を得て行政へ話をしているが、いろいろな部分で進み具合が遅れていて地元も地権者も心配している。行政サイドからもなぜ遅れているか等々地元で説明すべきでないかと思う。 回答 ・議員連盟からも早急に実施するよう行政に伝えます。
行政の担当部課	建設課
行政からの回答	・平成28年4月に、神坂区民の賛同が得られたため、6月には補正予算を付け、計画書の原案作成、施工計画等の実施設計図等を関係機関と協議し作成します。 ・平成29年度は、連結許可申請の提出、詳細設計を予定しています。その後、用地測量、用地買収を行い、用地取得が出来たところから工事に着手し、平成35年度の完成を目標に進めています。 また、平成28年12月に関係地区への説明会を行っております。

⑦

会場・項目	馬籠会場 ・ 用水パイプライン
会場での質問・回答	要望 ・市政懇談会は、ここ数年要望事項も増えてきて目の目を見ない事項も多くある。極端な話、言いつぱなしで終わってしまう。議会においても力添えをお願いしたい。具体的な最大の要望は、用水が老朽化しているのと水源が2キロ以上離れていることで、地域の高齢化と共に維持管理が難しくなってきたため、パイプライン化してほしいという要望です。市政懇で何回か取り上げてもらったが28年度予算にも上がっていません。 回答 ・パイプライン事業をやろうと思うとかなり大きな規模がいる。今希望を募っており、坂下、川上でも要望を上げている。市では総務部が要望事項を進捗管理しており、問い合わせをしてもらえればどう

	いう状況なのか判る。地元市議を活用してほしい。
行政の担当部課	農林整備課
行政からの回答	・用水の改修は大きな事業費が必要となります。事業化について、現在、山口・坂下、川上地区において、各地区より事業要望箇所を出していただき、要望箇所の精査、現地確認等を実施しております。少しでも地元負担が軽減できる制度を活用する事業化へ向けて、平成 29 年度に概算事業費の算出、地元調整、県への採択要望、土地改良法に関する事務調査を行い、平成 30 年度に事業計画の策定、平成 31 年度に事業着手できるよう取組んでいきます。 なお、県営の事業化については、現在他地区で実施している事業の進捗状況や、県の採択、県予算等により変わります。（市の進捗管理は各部で行っています。）

⑧

会場・項目	福岡会場 ・ 太陽光発電問題
会場での要望・回答	要望 ・ 太陽光発電がたくさんできているが、施工主、管理者が誰か解らないところがほとんどです、なにかあった時に連絡もできないので、看板などを立てて連絡先が分かるようにしていただきたい。 回答 ・ なし
行政の担当部課	管理課・環境政策課
行政からの回答	・事業地等の現場に掲げる標識類の掲示について、出力 50kW 以上の太陽電池発電設備は「電気事業法の発電所」となり、維持及び運用に関する保安の監督をさせるために、電気主任技術者の届出、フェンス囲い、標識等の設置も義務となっていますが、50kW 未満については「小出力発電設備」として義務化されておられません。 また、事業者が個人の場合は、個人情報保護条例もあり、市が調査しても開示することはできませんが、中津川市太陽光発電設備設置に関する取扱要綱に基づき届出のあったものについては、緊急連絡先の標識設置をお願いしてまいります。

⑨

会場・項目	福岡会場 ・ 高齢者対策
会場での質問・回答	要望 ・ 山間部に住む者にとっては、ホットバスの停留所までも遠く、かなり歩かなくてはならない。市民病院に旦那さんが入院している方は着替えなどの荷物も多く、仕方なしにタクシーを使用すると、入院代より交通費の方が高くなると嘆いています。ドア to ドア、乗り合いタクシーみたいな良い方法が市の方でないのか。議員さんたちにも考えていただきたい。 回答 ・ なし
行政の担当部課	定住推進課
行政からの回答	・ほっとバスは現在 5 路線を運行しておりますが、乗車人員も減少傾向にあり、地域のバス検討委員会のご意見を頂き、利用促進を図りながら路線の維

	持に努めます。 ・より利便性の高い方法については、引き続き研究を行ってまいります。
--	---

⑩

会場・項目	坂本会場 ・ リニア関連
会場での質問・回答	要望 ・市道 56 号を使い市民病院へ行っているが、車両基地で道路がなくなる。車両基地の位置を西へ動かせば代替え道路ができるようになる。J R に掛け合ったが話がない。是非話をしていただきたい。 回答 ・市道 56 号については、執行部に話をしていきます。
行政の担当部課	リニア対策課
行政からの回答	・坂本地区から市民病院へ向かう道路は、市道坂本 6 6 号線だと思われますので、市道坂本 6 6 号線につきまして回答いたします。現在、中部総合車両基地の付替道路につきましては、南北に横断できる道路は基地中央部分の 1 ヶ所のみ提案ではありますが、他にも迂回道路を補償してほしい、との地元要望を強くいただいておりますので、今後も引き続き、J R 東海と実現できるように粘り強く交渉してまいります。

⑪

会場・項目	坂本会場 ・ 農業振興
会場での質問・回答	要望 ・農地の問題、後継者問題、経営の問題、草刈だけをやる農地が増えてきた、農業振興はどうするのか。 回答 ・農地にはいろいろな問題がある。制度はあるが、なかなか解決することが難しい。研究をしていく必要があります。執行部にも伝えていきます。
行政の担当部課	農業振興課
行政からの回答	・坂本地区は、他地区と比べても 1 枚の圃場が比較的大きな地区もあり、水稻等の土地利用型農業を主に継続的に展開していくことが大切と考えます。 しかし現状では、後継者や担い手の不足といった人の問題が大きな課題と認識しております。 ・特に坂本北部地区は、大規模な個人農家の方が主に農地集積し営農していますが、今後、集落営農組織を設立し、地域農業を継続していくことが大切と考えます。 ・現在、県等関係機関と連携し、毎年、地区を選定して集落営農組織の検討を地域の方と行っておりますので、坂本地区につきましても取り組んでいきたいと考えます。

⑫

会場・項目	苗木会場 ・ 指定管理
会場での質問・回答	要望 ・福岡の B&G は、受入れ団体がないから福岡総合事務所で行っていると聞いた。津戸のゲートボール場は自分たちで管理しているが、津戸の施設を指定管理にしてほしいと思い、担当課に行っても受け付けてくれないので、お聞きします。

	回答 ・持ち帰って検討し、後で報告します。
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課・管理課
行政からの回答	・苗木浄水公園内の津戸ゲートボール場は公園施設であり、地元の市民の誰もが利用できる施設ですが、ゲートボール場の日常管理は地元利用者にして頂いています。 ・平成26年には、津戸地区との話し合いで、公園の日常管理は地域が行ない、危険箇所や地元管理が困難な部分については市が管理すること。市は消耗品等について、できる範囲内で対応することが話し合われています。 ・今後は、地域からの要望があれば、地元と日常管理の委託契約を考えており、その場合は委託料を活用した管理を考えて頂くようお願いいたします。

⑬

会場・項目	苗木会場 ・ まちづくり協議会関連
会場での質問・回答	要望 ・助成金をもっと出してほしい。 回答 ・総合事務所で裏付けを持って、しっかり予算を要求していただければと思います。
行政の担当部課	苗木事務所
行政からの回答	・現在、市から地域への助成金は「地域一括交付金」として支出されており、苗木地域まちづくり推進協議会（まち協）へも支出されています。しかしながら、市の財政は大変厳しい状況であることから、今後は市の交付金だけでなく、国や県、民間団体等による補助金を得るような検討が必要になると思われます。なお、今年度はまち協から県事業による「自立的まちづくり応援補助金」を申請し、県の補助をいただいています。 ・そのほか、苗木地域内のリニア中央新幹線沿線となる区へは「リニア中央新幹線沿線地域対策交付金」が支出されていますが、今年度はリニアを見据えた苗木地域のまちづくりのための講演会に活用されます。

⑭

会場・項目	苗木会場 ・ 東濃用水
会場での質問・回答	要望 ・大きな地震等が起きた時に水の確保をどうするか。玉蔵橋が落ちた場合どうなるか、橋の耐震など検討課題に入れてほしい。 回答 ・行政に伝えていきます。
行政の担当部課	建設課・水道課
行政からの回答	・橋梁は、平成25年9月に道路法が改正され、平成26年7月の施行により、道路橋点検を5年に1回行うことが義務付けられ、予防保全を図ることが必要となっております。 ・玉蔵橋においては、岐阜県が管理する橋梁であり、平成27年度の点検項目については、問題なしと聞いております。しかし、玉蔵橋は、昭和40年に架設しており、耐震化されていない橋梁でありますので、木曽川に架設されているその他の橋梁を含めて、耐震化を検討いただいています。 ・県の東部広域水道では、苗木配水池への送水管ルートの耐震化の計画があ

	りますが、具体的な時期等は示されていません。玉蔵橋に添架してある状況であるため、道路管理者と協議しながら送水管の耐震化に早期に着手できるよう要望していきます。
--	---

⑮

会場・項目	蛭川会場 ・ 移住定住
会場での質問・回答	要望 ・ 定住促進について、市の土地が遊休地になっている。商工業が悪くなっているので雇用促進につながらない。リニア開業を控え、多くの人たちに故郷に帰って来ていただきたい。体験住宅などもやっていると聞くが、魅力がないと集まらない。イベントではタダのものに集まる。市の遊休地をタダで提供するなど魅力をつけて、多くの人に都会から来てほしい。 回答 ・ 体験型住宅は加子母や各地にある。補助金もある。総務省がやっているが、よそから来て３年間で地域の問題を解決するという地域おこし協力隊が加子母で４人あった。来年は加子母で１人あると聞く。蛭川でもあれば少しずつ定住につながるのではないかと思う。定住促進として市に上げていきます。
行政の担当部課	定住推進課
行政からの回答	・ 市有財産の土地を積極的に売却し、移住定住につなげています。 ・ 市の魅力を磨き発信する事はもちろんですが、移住者向けの支援メニュー（住宅取得等）も用意し受け入れ態勢を整えています。 ・ 阿木、加子母地域で体験住宅の整備運営支援を行い、利用促進を図り移住のきっかけ作りを進めています。今後も数箇所の施設整備補助を予定していますので、蛭川地域でも検討いただければ幸いです。 ・ 首都圏での移住セミナーや移住体験ツアーも本年度から実施し都会からの誘致に取り組んでいます。

⑯

会場・項目	蛭川会場 ・ 資源ごみ
会場での質問・回答	要望 ・ 資源ごみの補助金 1 kg 5 円を大幅に上げてほしい。 回答 ・ 市に伝えます。
行政の担当部課	環境政策課
行政からの回答	・ 当面は現状の資源分別回収事業奨励金額の水準（1 kg あたり 5 円）を維持していきます。今後の古紙価格の変動や資源化の状況に応じて、資源回収量を増加させる対策の一つとして奨励金額の引き上げを検討します。

⑰

会場・項目	蛭川会場 ・ 特産品関連
会場での質問・回答	質問 ・ マツタケのブランドもあり、活性化委員会で下刈りや、菌を打ったりしているが手間賃も出ない。県の補助金や市のがんばるサポートも３年間もらいマツタケの再生を目的に取り組んでいる。マツタケのキノコブランドとして管理しているが、費用が出ない。山の落札

	金を半分でもいいから補助金として出していただきたい。 回答 ・キノコ山は、みなさん方ご承知のとおりである。入札で落とされた金額が山の管理費用に戻っていない。市に伝えます。
行政の担当部課	蛭川総合事務所
行政からの回答	・マツタケの栽培技術については、全国各地で研究に取り組んでいますが 100%効果があるという技術は確立されていません。里山活性化委員会へは市有林の中で以前、採取権の入札対象物件を無償で貸与しマツタケの再発生の実証試験地として利用いただいておりますが、数値的に試験の効果（有効性）が認められるレベルに達しておりません。効果が認められない取組に対し、補助金を交付することはハードルが高いという現実があります。その代替施策として、きのこ山関連の林道整備に採取権の入札で得た収益の一部を充当しております。

⑩

会場・項目	川上会場 ・ 坂下病院
会場での要望・回答	要望 ・ 検討委員会の推計では、平成 32 年の患者数は減少するとあります。65 歳以上の人口は平成 37 年がピークだと言われているので、むしろ年老いた患者数は増えるのではないかと。何故 32 年を基準としてベッド数を減らすとしたのか。お答えを聞きたい。また、国の繰り出し金を除いて借金はいくらあるのか。 回答 ・ ベッド数及び繰り出し金、そして借財などについては後日改めて返答させていただきます。
行政の担当部課	総務課（坂下病院）
行政からの回答	1. 平成 32 年を基準としたことにつきましては、総務省が示す新公立病院改革プランの対象期間が平成 32 年度までとなっておりますので、この年度を基準とさせていただきます。 ・ 患者数の減少につきましては、以下のことから推計しています。 ① 人口減少 ② 国の政策として、高齢者に多い慢性期患者や回復期患者は介護施設や在宅療養に移っていただくよう進められていること。 ③ 医療技術の進歩、(DPC 等) 診療報酬改定により医療の標準化が進んで平均在院日数が短くなっていること。 2. 坂下病院の平成 27 年度末借入金残高につきましては ・ 建物 4,014,700,081 円 ・ 医療機器 647,280,000 円 ・ その他（医師住宅等） 49,258,391 円 合計 4,711,238,472 円です。 ※最終返済年度は、建物の平成 43 年 3 月 1 日になります。

会場・項目	川上会場 ・ 坂下病院
会場での要望・ 回答	質問 ・ 坂下病院の診療所化を検討される前に、市民病院の整備を何故考えられないのですか。生活圏内に 28 の開業医が存在し、住民の日常生活には不安が少ない旧市内の市民病院を縮小し、通院の利便性や山間僻地の患者さんの命の砦である坂下病院を守るべきだと思いますか。 ・ 合併当時、8 億円の留保金はどうなってしまいましたか。市側は 5 億だと言われていますが、内容的にも金額的にも不明点が多いので調べて報告下さい。 ・ 建設費用の起債、交付税措置、病床補助金など、坂下病院への繰入額と運用について詳細に伺いたい。 回答 ・ 当日文書提出のため回答なし。
行政の担当部課	総務人事課・総務課（坂下病院）
行政からの回答	1. 市民病院は開業医や坂下病院で行えない医療機能も担っており縮小は考えておりません。坂下病院につきましては、平成 28 年 12 月に市長が発表した「中津川市公立病院に関する方針」に基づいて取り組んでまいります。 命にかかわる緊急性の高いケースとしては、脳と心臓の病気ですが、これらの疾患は、体制の整った病院でないと、十分な治療はできません。これまででも坂下病院では、特に緊急を要し命に関わる疾患（心筋梗塞、脳卒中、高エネルギー外傷（交通事故）、開腹を伴う手術など）には十分な対応ができず、市民病院が対応しています。 2. 留保金とは、退職手当組合負担金精算金のことと考えます。 旧坂下町の退職手当組合負担金精算金は、総額 951, 146, 917 円で、その内訳は、一般会計分 453, 245, 140 円、坂下病院分と坂下老健分が 497, 901, 777 円でした。そのため 5 億円と報告させていただいたもので、8 億円という数字がどういう数字なのかはわかりません。 なお、退職手当組合負担金精算金は、合併当時から市の退職手当基金に全額積立て保管してきましたが、昨今の坂下病院の資金不足により、平成 27 年度から医師や看護師などの医療職の退職給付金相当額を坂下病院、坂下老健に繰入しており、平成 27 年度末現在の残高は、462, 741, 042 円になっています。 3. 平成 28 年度当初予算における坂下病院への繰入額は、建設費用の起債償還額分として、2 億 1 千万円、その他、救急、リハビリ、職員の研究研修に要する費用を補う分として 2 億 4 千万円であり、市からの繰入総額 4 億 5 千万円となります。なお、これに対応する交付税措置は病床分、起債分、救急分として総額約 1 億 7 千万円です。